

第49回日本香粧品学会プログラム

メインテーマ：皮膚から「みる」 香粧品の未来予想図

2024年6月28日（金）：1日目

9:30～9:35 開会挨拶 会頭：小幡薫子（星薬大）
総合司会：瀬川憲人（セニルラボラトリーズ）

9:35～10:05 会頭講演
新時代を拓く香粧品科学
小幡薫子（星薬大）
座長：海老原 全（東京都済生会中央病院）

10:05～10:55 一般研究演題（1） 有効性
4題（発表8分、質疑4分）
座長：藤堂浩明（城西大）
木曾昭典（丸善製薬）

R01 チューベロース多糖体（TPS）の角層保護効果
○石川准子¹、安田由夏²（¹花王・生物研、²花王・解析研）

R02 乳化製品の油性被膜形成に及ぼす多孔質セルロースビーズの細孔構造の影響
○鈴木高広¹、塚本千陽¹、熊野美空¹、有馬花純¹、伊藤あゆ¹、岩田桃佳¹、
坂本 勝¹、延田紘治²、椎名真己²（¹近畿大・生物理工、²JNC（株））

R03 ブラジル天然資源 Andiroba 由来リモノイド成分のメラニン産生抑制作用およびその
作用機序の解析
○萬瀬貴昭¹、長友暁史¹、山田玲実¹、渡邊秀太¹、森川敏生^{1,2}
(¹近畿大・薬総研、²近畿大・アンチエイジングセ）

R04 皮膚色素沈着に対する乳酸菌発酵物の影響およびそのメカニズムの検討
○篠崎優衣、西中ゆい、齋藤凜佳、田端慶斗、横山公紀、今 理紗子、酒井寛泰、
細江智夫、五十嵐信智（星薬大・生体分子薬理）

10:55～11:45 一般研究演題（2） 皮膚老化
4題（発表8分、質疑4分）
座長：須賀 康（順天堂大）
吉田雄三（資生堂）

R05 グルコシルナリンギンは表皮ケラチノサイトにおける皮膚バリア機能の
低下や概日リズムの乱れを改善する
○宮田聰美、鈴木基之、花岡美穂、牛尾知恵、森元崇史、岸本治郎
(ナガセヴィータ（旧林原）)

R06 線維芽細胞の老化連鎖に関わるエクソソーム内包 miRNA の特定
○佐藤友里、板井恵理子、陳 佳旭、厚木 徹（コーセー）

R07 加齢や疾患に伴う皮膚毛細リンパ管の変化と皮膚性状との関連
○板井菜緒¹、Gantumur Enkhtuul¹、辻田恭子¹、秋田新介²、加治屋健太朗¹
(¹資生堂・みらい研、²千葉大・医）

R08 部位ごとのシワの関係性を考慮した新たなエイジング指標の開発
○帶金 駿, 末松 健, 中村理恵 (コーセー)

11:45～13:45 昼休み (120分) 下記ポスターセッション①を含む

12:35～13:35 ポスターセッション①
(以下の演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在席)

P01 クレンジング時の刺激低減を目指したW/O型固形クレンジング料の開発
○辻 健太郎, 渡部寛也, 片吉健史, 大橋香里 (ディーエイチシー)

P02 LC-MS/MSによる市販化粧品中精油由来フロクマリン類の実態調査
○久保田領志¹, 増井由紀子², 河上強志¹, 秋山卓美¹,
五十嵐良明¹, 伊藤明子², 内山奈穂子¹
(¹国立衛研・生活衛生化学, ²ながたクリニック)

P03 HaCaT細胞を用いた軽い皮膚炎症に対する精油の炎症抑制効果とその機能性評価
○山井采美花¹, 藤田 歩¹, 小林昂平², 根建美也子³, 安藤直子^{1,2}
(¹東洋大院・理工, ²東洋大・理工, ³共立女子大・家政)

P04 植物エキス連用による、角層蛍光性AGEsおよび肌色のタンジブルな改善効果
○早川悠貴 (花王・スキンケア研)

P05 植物由来の紫外線吸収剤フェルラ酸の安定化分散処方の検討
○高市成美, 小黒友輝, 小林瑞佳, 中村紀夫, 築野卓夫
(築野ライスファインケミカルズ)

P06 新しい紫外線保護剤創製を志向した化粧品分析法の開発
○八田友維, 谷藤尚貴 (米子高専・物質工学)

13:45～13:55 挨拶 理事長：石河 晃 (東邦大)

13:55～15:35 シンポジウムI 人を対象とする調査・試験・研究の倫理
～社会の潮流と香粧品分野の課題について～
座長：林 伸和 (虎の門病院)
古田淳一 (筑波大)

1. 香粧品分野の研究倫理とは
田代志門 (東北大)
2. 生命科学・医学系研究の倫理と非医学系研究の倫理—化粧品研究を中心に—
横野 恵 (早稲田大)
3. 個人情報保護法について
古川泰斗 (個人情報保護委員会)

15:35～15:50 休憩 (15分)

15:50～16:30 一般研究演題（3）皮膚特性

3題（発表8分、質疑4分）
座長：片桐千華（資生堂）
築瀬香織（クラシ工）

R09 産後1年以内の日本人女性の皮膚特性

○羽毛田記子¹、清水映里²、東條かおり¹、海津一宏¹

（¹花王・スキンケア研、²花王・解析研）

R10 アトピー性皮膚炎患者と健常人の皮膚形態および皮膚生理機能の比較検討

○新海陽介¹、山田裕太郎¹、黄田千尋¹、赤田美奈¹、高原佑輔¹、杉田拓也²、

佐藤春奈²、山下諒子²、村上有美²、松中 浩²、菊地克子³、新垣健太¹

（¹ノエビア、²常盤薬品工業、³仙台たいはく皮膚科クリニック）

R11 皮膚から「みる」メンタルストレス～顔情報からメンタルストレスの推測は可能か？

○本川智紀^{1,2}、加藤朋美¹

（¹ポーラ化成工業・フロンティア研、²東北大・医学系研究）

16:30～17:15 特別講演I

座長：会頭 小幡誉子（星葉大）

皮膚に現れる様々なパターンから機能と病態を考える

久保亮治（神戸大）

18:30～

懇親会（如水会館）

2024年6月29日（土）：2日目

9:10～9:40 総会

9:40～10:00 第11回優秀論文賞授賞式・受賞講演

10:00～10:45 特別講演Ⅱ 座長：副会頭 水谷友紀（コーセー）
オルガノイド研究の可能性—ヒト全層皮膚の人為的再構成
武部貴則（東京医科歯科大）

10:45～11:25 一般研究演題（4）色素・神経 3題（発表8分、質疑4分）
座長：大島 宏（ポーラ）
高橋慶人（花王）

R12 低温度培養条件におけるB16メラノーマ4A5細胞のメラニン産生および糖タンパク質解析
○服部茉由子、小倉千尋、松下祥子、林 亜紀、鈴木佑典（日本院・理工）

R13 欠番

R14 PHK16-0b細胞への過剰な色素の取り込みで小胞体ストレス応答が起きる
○柴田雄次、山田勝久（ディーエイチシー）

R15 知覚を超えた感覚神経系のあらたなる機能
○堤 も絵¹、Piccini Ilaria²、Bertolini Marta²、加治屋健太郎¹
(¹資生堂・みらい研、²Monasterium Laboratory)

11:25～13:25 昼休み（120分）下記ポスターセッション②を含む

12:15～13:15 ポスターセッション②
(以下の演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在席)

P07 培養真皮線維芽細胞を用いた過酸化水素消去活性の評価手法の検討
○尾崎愛美¹、竹本和憲²、八木政幸³、安藤秀哉¹
(¹岡山理大院・理工、²岡山理大・医用科学教育センター、³ロゼット)

P08 こめ油の化粧品基材としての機能性
○伊藤志門、小黒友輝、山内優歩、小林瑞佳、中村紀夫、築野卓夫
(築野ライスファインケミカルズ)

P09 ヨウ化ニンニクエキスの肌細胞への機能性評価と作用メカニズムの解析
○宮内勇樹^{1,2}、岩崎なつみ¹、廣川隆彦³、謝 凉晶¹、矢野敏史¹、原 太一¹
(¹早大人院、²近代化学、³神奈川県産技総研)

P10 2-(2-アミノエチルチオ)コハク酸の髪質改善効果の評価
○宮本紘幸¹、田渕日奈子¹、佐藤聰太郎¹、片山耕太郎¹、松本健嗣¹、
田中良宣²、生田義倫³、堀田弘樹^{1,4}、辻野義雄⁴（¹神戸大院・海事科学、
²B.Products Taco、³オリエンタルケミカル、⁴神戸大院・イノベ）

P11 オミクス解析を用いたコルチゾールによるエクソソーム内包物の特性変化が表皮角化細胞と線維芽細胞との連関に与える影響の検討

○上村美優¹, 王 繕雲¹, 久原麻那¹, 李 金娟¹, 前橋万里子², 小田彩水²,
佐藤千智², 原 太一¹ (¹早大・人科院, ²シーボン)

P12 メラノソーム貪食の簡易評価手法の検討

○氏原舞香¹, 吉崎海斗², 八木政幸³, 安藤秀哉¹
(¹岡山理大院・理工, ²岡山理大・工, ³ロゼット)

13:25~15:05 シンポジウムⅡ 最新技術で皮膚を観る～明日の肌のサイエンス～

座長：常深祐一郎（埼玉医大）
辻野義雄（神戸大）

1. 皮膚表皮顆粒層の機能的細胞死コルネオトーシスを観る

松井 毅（東京工科大）

2. Volume EM で観てはじめてわかる皮膚のメソスケール

太田啓介（久留米大）

3. 1 細胞解像度で観る皮膚・毛包の発生

森田梨津子（大阪大）

4. 1 細胞レベルで観るヒト皮膚線維芽細胞の不均一性と加齢変化

板井恵理子（コーセー）

15:05~15:20 休憩（15分）

15:20~16:00 一般研究演題（5）毛髪・皮脂腺

3題（発表8分、質疑4分）

座長：芹澤哲志（ライオン）
関 泰三（ノエビア）

R16 ヒトのくせ毛の特徴

○藤谷 楓¹, 平井志穂¹, 三倉悠里奈¹, 奥津寧々¹, 木村紗佑里¹,
宮地弘子¹, 正木 仁², 加藤美砂子³, 岩渕徳郎¹
(¹東京工科大・応生, ²CIEL, ³お茶の水女子大・理)

R17 毛髪のブリーチに伴うダメージに対する新規アミノ酸化合物の効果について

○佐藤聰太郎¹, 宮本紘幸¹, 堀田弘樹^{1,3}, 生田義倫², 辻野義雄³
(¹神戸大院・海事, ²オリエンタルケミカル, ³神戸大院・イノベ)

R18 ハムスター脂腺細胞におけるカテコールアミンによる皮脂産生制御機構

○金久絵理奈, 水野晃治, 小岩井利一, 奥山勝揮, 佐藤 隆（東京薬大・薬）

16:00~16:40 一般研究演題（6）安全性

3題（発表8分、質疑4分）

座長：見坊行広（岩瀬コスファ）
矢作彰一（ニコダームリサーチ）

R19 非晶質ナノシリカの胎盤細胞における局在評価と胎盤毒性の同定

○東阪和馬^{1,2,3}, 小林純大², 謝 燕坤², 奥野和香子³,
村中瑞希³, 芳賀優弥^{2,3}, 堤 康央^{2,3,4,5}
(¹阪大高等共創研, ²阪大院薬, ³阪大薬, ⁴阪大 MEI セ, ⁵阪大先導)

R20 動物を用いない光感作性評価法開発の取り組み

○太枝志帆, 大竹利幸, 跡部朋美, 廣田衛彦, 田村亜紀子
(資生堂・ブランド研)

R21 SSCI-Net 症例情報から見えてきた香粧品の皮膚安全性 (2024)

○矢上晶子^{1,2}, 松永佳世子^{1,3}, 鈴木加余子^{1,2}, 杉山真理子^{1,3}, 加藤則人^{1,4},
江藤隆史^{1,5}, 佐藤 隆^{1,6}, 佐倉正明^{1,7}, 山本順二^{1,8}, 張山幸江¹, 篠橋雄二^{1,9}
(¹SSCI-Net, ²藤田医科大・医・総合アレルギー, ³藤田医科大・医・アレルギー疾患対策医療,
⁴日本皮膚科学会, ⁵日本臨床皮膚科医会, ⁶日本香粧品学会, ⁷日本ヘアカラー工業会,
⁸日本化粧品工業会, ⁹東京工業大)

16:40～16:55 休憩 (15分)

16:55～17:55 パネルディスカッション

化粧品の安全性保証の新たな考え方：Next Generation Risk Assessment
(NGRA) の行政利用に向けたチャレンジ

座長：畠尾正人（粧工会）

1. 動物実験を用いないリスク評価（次世代リスク評価；NGRA）の概要と期待
廣田衛彦（粧工会 NGRA WG/ 資生堂）

2. A systemic toxicity safety assessment on the UV filter Benzophenone-4
Matt Dent (Unilever)

3. パネルディスカッション

廣田衛彦（粧工会 NGRA WG/ 資生堂）

豊田明美（粧工会 NGRA WG/ ポーラ）

畠尾正人（粧工会 / コスメティックアライアンスパートナーズ）

笛木 修（医薬品医療機器総合機構）

山田隆志（国立衛研）

伊藤晃成（千葉大）

小野 敦（岡山大）

17:55～18:00 会頭賞発表 会頭：小幡薫子（星葉大）

18:00～18:05 閉会挨拶 次期会頭：海老原 全（東京都済生会中央病院）

総合司会：瀬川憲人（セニルラボラトリーズ）